

北浦町古江地区津波避難施設整備事業の概要

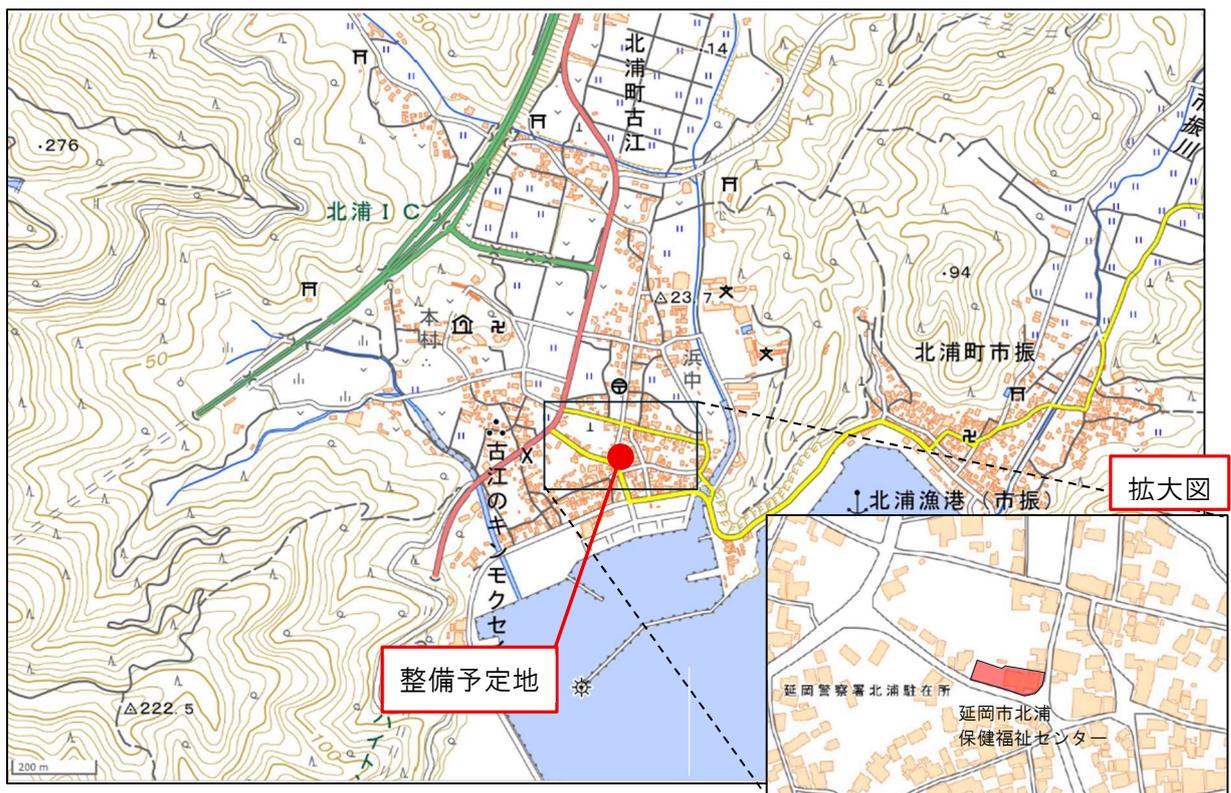
1. 整備の目的

本市では、「逃げ遅れゼロのまち」の達成に向けて、「第2次津波避難施設等整備計画基本方針」を令和5年8月に策定し、「高台」や「避難ビル」などの津波指定緊急避難場所がない地域や津波指定緊急避難場所へ避難するための避難路が確保されていない地域を新たな「特定津波避難困難地域」として指定し、津波避難施設等の整備を進めております。

今回は、「特定津波避難困難地域」において、周辺に「高台」や「避難ビル」などが無い北浦町古江地区の津波避難施設整備を行うものです。

2. 建設予定地

2-1. 位置図



3. 整備計画

3-1. 整備方針

北浦町古江地区の津波避難困難地域住民、就労者及び観光客等を津波被害から守るために津波避難施設を整備します。

3-2. 整備する機能

1) 避難スペース

避難想定人数 600人

避難必要スペース $600 \text{人} \times 0.5 \text{m}^2 / 1 \text{人あたり} = 300 \text{m}^2$ 以上

2) 避難高さ

想定される津波浸水深に対して余裕ある高さ設定とします。

また、避難動線として階段に加え、車椅子利用者等の避難行動要支援者にも配慮したスロープを整備します。

・地盤標高：TP+3.80（TP：東京湾平均海面）

・津波浸水深（最大標高）：TP+14.40【地盤から10.6m】

・安全確保最低標高：TP+17.40（津波想定深さ+3.0m）【地盤から13.6m】

◎避難フロア(1)高：TP+17.80【地盤から14.0m・津波浸水深（最大標高）から3.4m】

◎避難フロア(2)高：TP+21.00【地盤から17.2m・津波浸水深（最大標高）から6.6m】

3) 防災備蓄倉庫

浸水想定の高さ以上の位置に大規模災害に備え防災備蓄倉庫を整備し、避難者600人の物資（食料品、簡易トイレなど）を備蓄します。

4) 屋根の設置

避難時の降雨荒天、日射対策として避難スペース上部に屋根を設置します。

4. 施設基本計画

4-1. 配置計画

延岡市北浦保健福祉センター西側の駐車場用地に整備します。

・地名地番：延岡市北浦町古江 2433-1

・敷地面積：約1200㎡

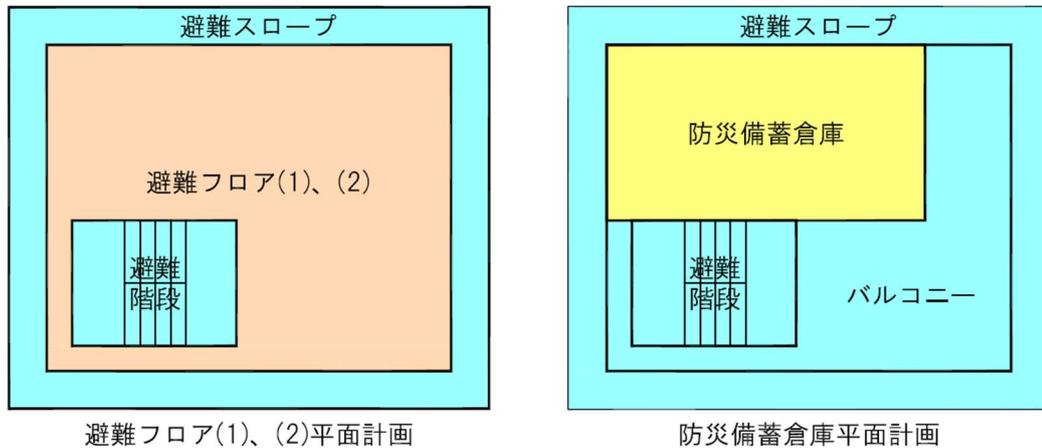
・用途地域：指定無し

・防火地域：指定無し



4-2. 平面計画

避難フロアを2層に分けて設置し、浸水想定の高さ以上の位置に防災備蓄倉庫を設けます。避難階段は屋内型とし、施設外周に避難スロープを設置します。



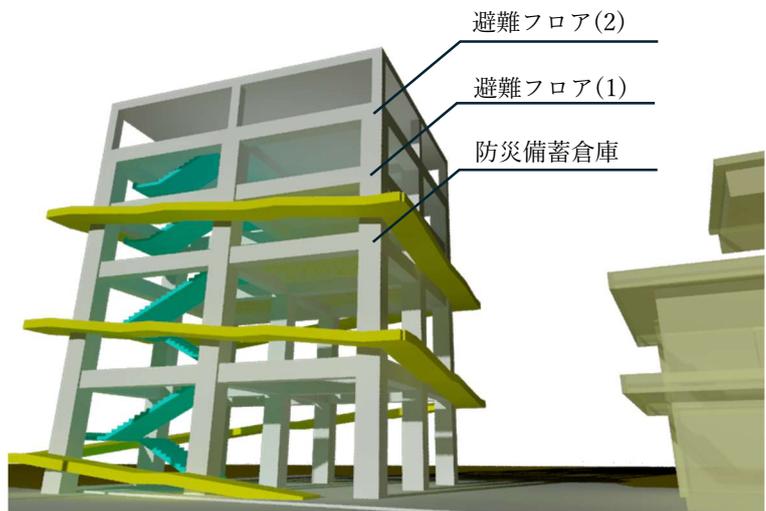
4-3. 断面計画

避難フロア高については津波浸水深(最大)に津波のせり上がりを考慮した3mの余裕高さを見込んだ安全確保高以上に設定します。



4-4. 建築概要

構造：鉄筋コンクリート造
 規模：地上4階建て
 延床面積：792㎡
 建築面積：238㎡



●南側からの見上げイメージ
 (県道 古江丸市尾線より)

5. 整備スケジュール及び事業費

5-1. 整備スケジュール（予定）

令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
避難施設実施設計		
	避難施設工事	

5-2. 事業費

1) 整備費：約 5 億 6 千万円

※整備費については、基本設計に基づく概算であり、詳細の整備費については今後行う実施設計の中で算定を行う予定です。

※財源については、国土交通省所管の「防災・安全交付金」を活用して整備します。

2) 維持管理費：約 1 2 万円/年（光熱費等）

※維持管理費は、基本設計に基づく概算であり、本施設の維持管理費については今後行う実施設計の中で、関係機関と運営手法等を協議の上、算定を行う予定です。